

サービス産業活動図表集

2020年4月の第3次産業活動指数の状況

2020 年 6 月 15 日

URL:<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

2020年4月の第3次産業活動指数の状況

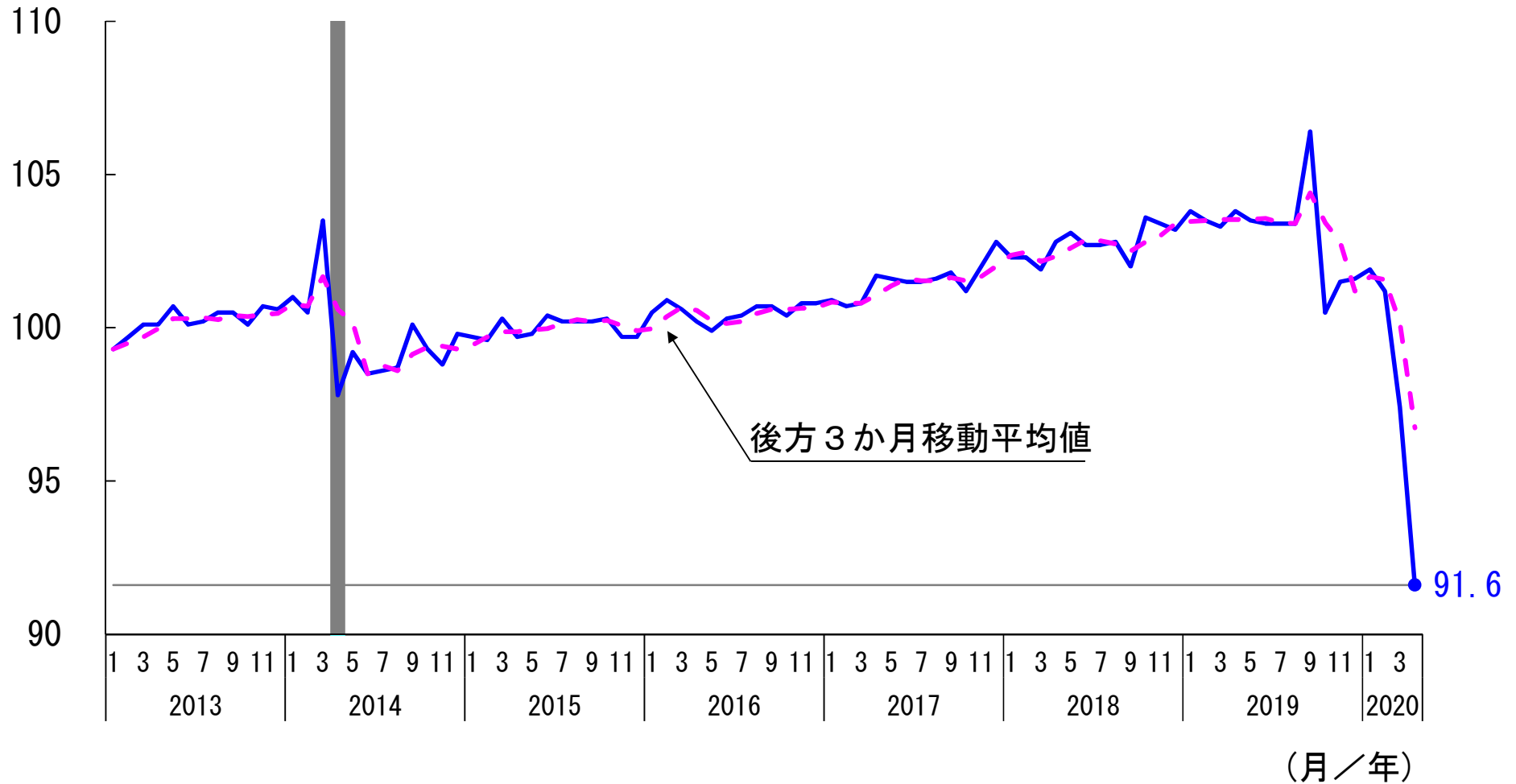
月次	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	91.6	87.1	95.8
前月比	-6.0%	-7.2%	-5.0%
指数水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020.4 91.6 ②2020.3 97.4 ③2014.4 97.8	①2020.4 87.1 ②2020.3 93.9 ③2014.4 97.3	①2020.4 95.8 ②2014.4 97.3 ③2014.8 98.2
前月比の動き	3か月連続— (2020.2～当月)	3か月連続— (2020.2～当月)	3か月連続— (2020.2～当月)
前月比幅	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2019.10 -6.1%以来
	①2020.4 -6.0% ②2014.4, 2019.10 -5.5% ③2020.3 -3.8%	①2020.4 -7.2% ②2019.10 -6.7% ③2020.3 -6.4%	①2014.4 -6.9% ②2019.10 -6.1% ③2020.4 -5.0%
原指数	89.2	85.3	93.0
前年同月比	-11.5%	-15.0%	-8.1%
前年同月比の動き	7か月連続— (2019.10～当月)	7か月連続— (2019.10～当月)	7か月連続— (2019.10～当月)
前年同月比幅	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020.4 -11.5% ②2020.3 -5.3% ③2019.10 -3.8%	①2020.4 -15.0% ②2020.3 -8.2% ③2019.10 -4.1%	①2020.4 -8.1% ②2014.11 -4.1% ③2019.10 -3.3%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数の動向

・ 2020年4月の第3次産業活動指数は、91.6(前月比-6.0%)と3か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

2020年4月

「第3次産業活動は、急落している」

基調判断の推移

- ・ 2015年1月～4月 「持ち直している」
- ・ 2015年5月～6月 「足踏みがみられる」
- ・ 2015年7月～9月 「横ばい傾向」
- ・ 2015年10月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2015年11月 「一進一退」
- ・ 2015年12月～2016年3月
「一進一退ながら一部に弱さがみられる」
- ・ 2016年4月～10月 「一進一退」
- ・ 2016年11月～2017年4月 「横ばい」
- ・ 2017年5月～7月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2017年8月～10月 「高い水準で横ばい」
- ・ 2017年11月～2018年2月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2018年3月 「一部に弱さがみられる」
- ・ 2018年4月～8月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2018年9月 「足踏みがみられる」
- ・ 2018年10月～2019年2月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2019年3月～2019年6月
「持ち直しの動きにあるが、一部に弱さがみられる」
- ・ 2019年7月 「高い水準で横ばい」
- ・ 2019年8月～2019年9月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・ 2019年10月～2020年1月 「足踏みがみられる」
- ・ 2020年2月 「足踏みのなかに弱さがみられる」
- ・ **2020年3月～ 「急落している」**
(2015年1月より基調判断を実施)

		第3次産業 総合	
		前期比 (%)	
2017年	Ⅱ期	101.6	0.8
	Ⅲ期	101.6	0.0
	Ⅳ期	102.0	0.4
2018年	Ⅰ期	102.2	0.2
	Ⅱ期	102.9	0.7
	Ⅲ期	102.5	-0.4
2019年	Ⅳ期	103.4	0.9
	Ⅰ期	103.5	0.1
	Ⅱ期	103.6	0.1
2020年	Ⅲ期	104.4	0.8
	Ⅳ期	101.2	-3.1
	Ⅰ期	100.2	-1.0

(2015年=100、季節調整済)

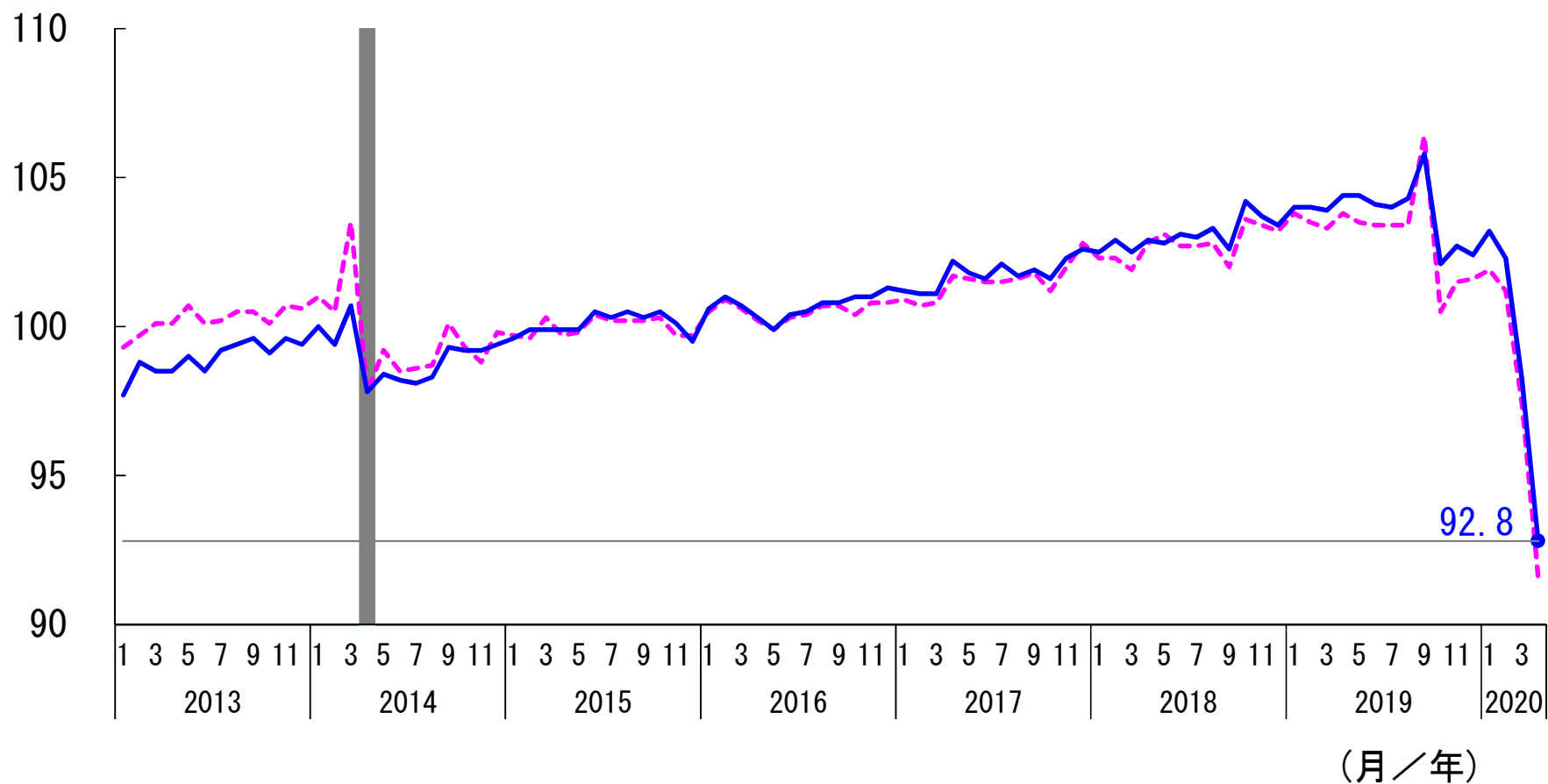
		第3次産業 総合		後方3か月 移動平均	
		前月比 (%)		前月比 (%)	
2017年	5月	101.6	-0.1	101.4	0.3
	6月	101.5	-0.1	101.6	0.2
	7月	101.5	0.0	101.5	-0.1
2018年	8月	101.6	0.1	101.5	0.0
	9月	101.8	0.2	101.6	0.1
	10月	101.2	-0.6	101.5	-0.1
2019年	11月	102.0	0.8	101.7	0.2
	12月	102.8	0.8	102.0	0.3
	1月	102.3	-0.5	102.4	0.4
2020年	2月	102.3	0.0	102.5	0.1
	3月	101.9	-0.4	102.2	-0.3
	4月	102.8	0.9	102.3	0.1
2017年	5月	103.1	0.3	102.6	0.3
	6月	102.7	-0.4	102.9	0.3
	7月	102.7	0.0	102.8	-0.1
2018年	8月	102.8	0.1	102.7	-0.1
	9月	102.0	-0.8	102.5	-0.2
	10月	103.6	1.6	102.8	0.3
2019年	11月	103.4	-0.2	103.0	0.2
	12月	103.2	-0.2	103.4	0.4
	1月	103.8	0.6	103.5	0.1
2020年	2月	103.5	-0.3	103.5	0.0
	3月	103.3	-0.2	103.5	0.0
	4月	103.8	0.5	103.5	0.0
2017年	5月	103.5	-0.3	103.5	0.0
	6月	103.4	-0.1	103.6	0.1
	7月	103.4	0.0	103.4	-0.2
2018年	8月	103.4	0.0	103.4	0.0
	9月	106.4	2.9	104.4	1.0
	10月	100.5	-5.5	103.4	-1.0
2019年	11月	101.5	1.0	102.8	-0.6
	12月	101.6	0.1	101.2	-1.6
	1月	101.9	0.3	101.7	0.5
2020年	2月	101.2	-0.7	101.6	-0.1
	3月	97.4	-3.8	100.2	-1.4
	4月	91.6	-6.0	96.7	-3.5

卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数

- ・ 2020年4月の卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数は、92.8(前月比-5.5%)と3か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

--- 第3次産業総合 — 除く卸売業、小売業

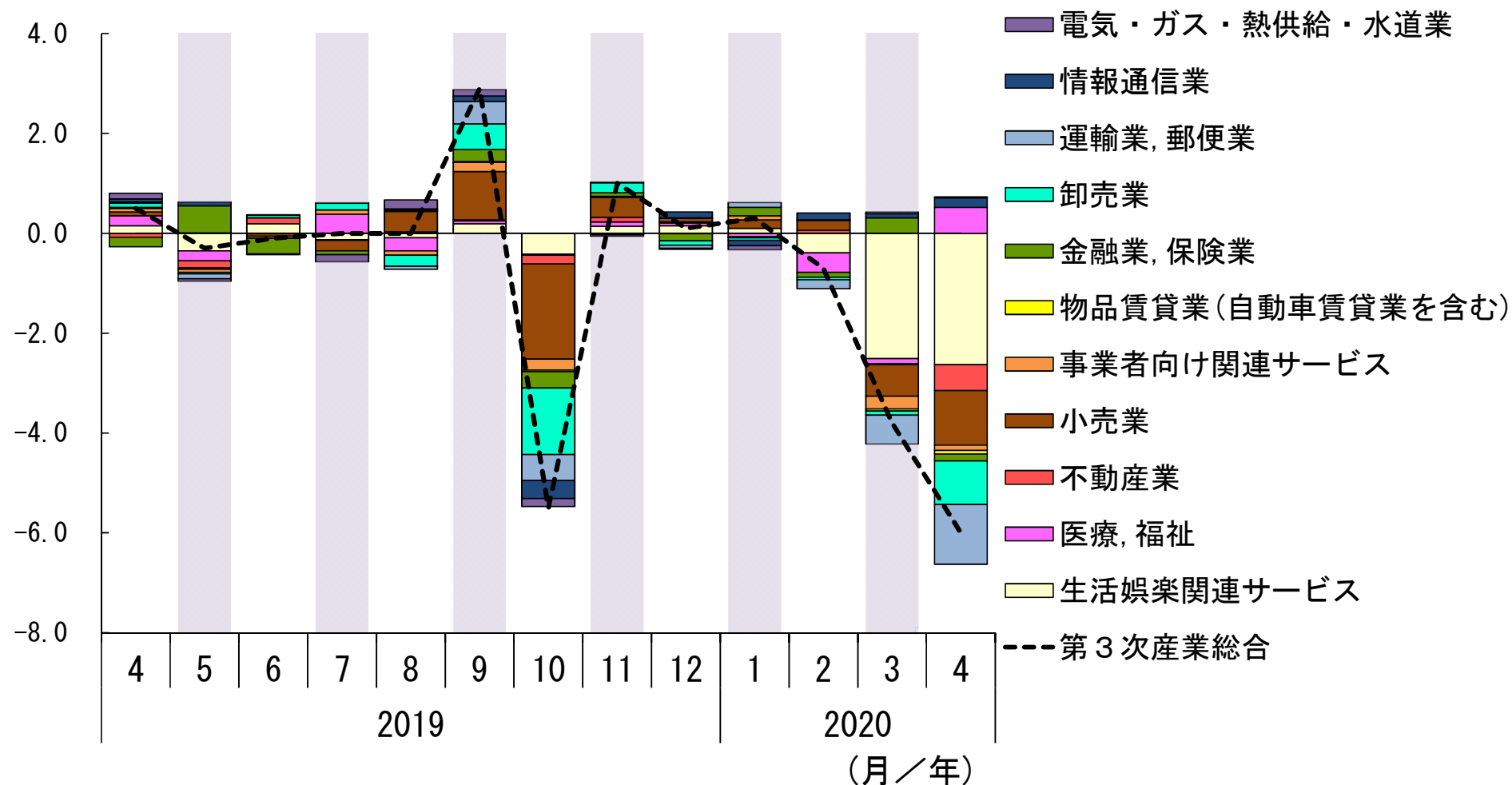


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

第3次産業活動指数前月比 業種別の影響度合い

・2020年4月の第3次産業活動指数は、医療、福祉などが上昇したものの、生活娯楽関連サービスなどが低下したため、前月比-6.0%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



第3次産業活動指数を大きく動かした個別系列

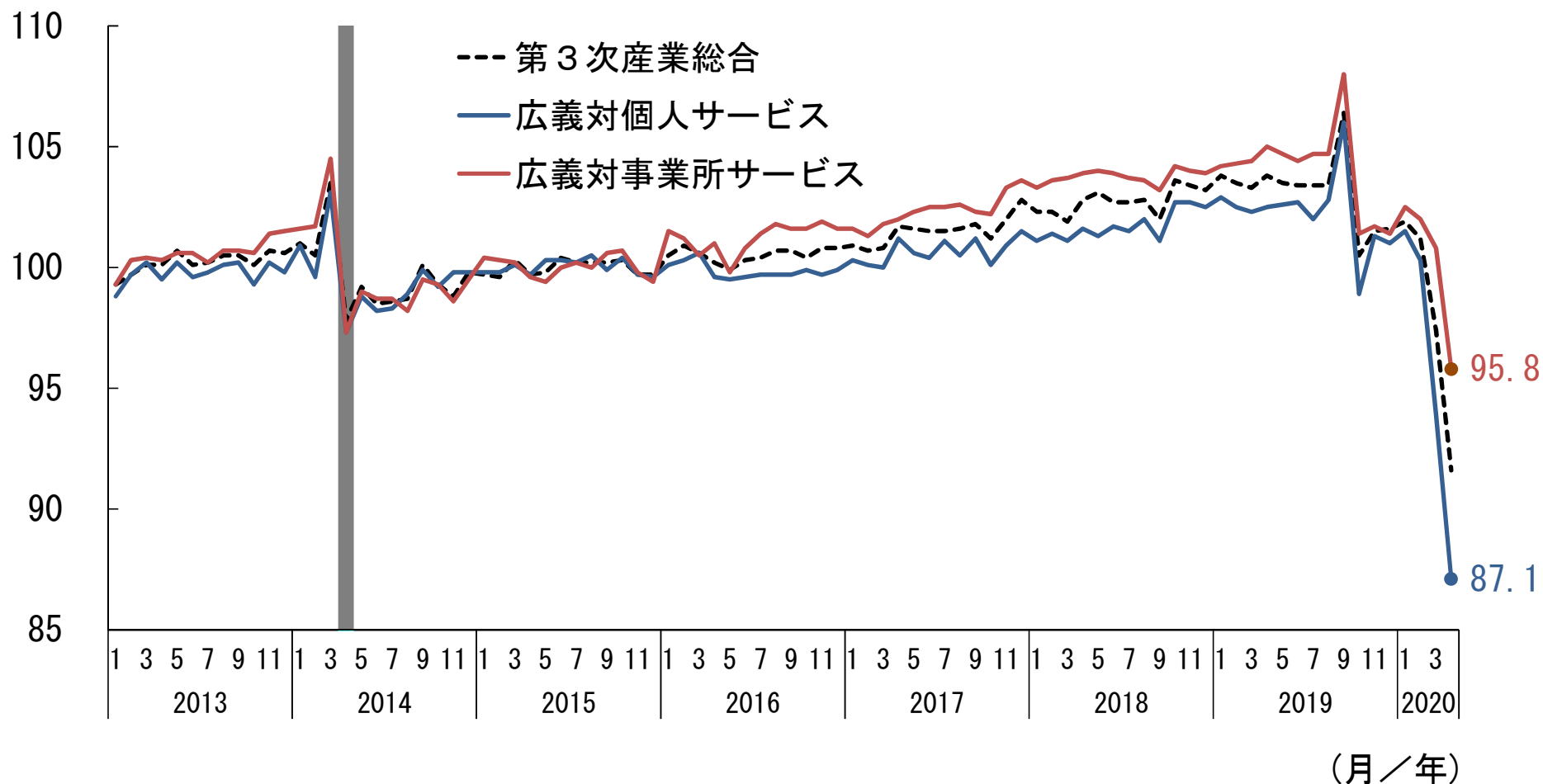
		業種名	前月比	寄与率
○ 第3次産業総合を 低下 方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	生活娯楽関連サービス	- 31.7%	- 44.2%
	内訳業種	飲食店, 飲食サービス業	- 42.6%	- 22.5%
		娯楽業	- 36.7%	- 9.7%
	2位の業種	運輸業, 郵便業	- 12.7%	- 20.2%
	内訳業種	道路貨物運送業	- 10.7%	- 7.7%
		鉄道業	- 14.8%	- 3.9%
3位の業種	小売業	- 9.3%	- 18.4%	
内訳業種	織物・衣服・身の回り品小売業	- 40.0%	- 6.4%	
	自動車小売業	- 24.2%	- 6.4%	
○ 第3次産業総合を 上昇 方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	医療, 福祉	3.9%	8.8%
	内訳業種			
	2位の業種	情報通信業	1.9%	3.3%
	内訳業種	情報サービス業	8.6%	6.5%
3位の業種	電気・ガス・熱供給・水道業	0.5%	0.3%	
内訳業種	電気業	1.8%	0.7%	

寄与率：第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い全業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動指数の動向

- ・ 2020年4月の広義対個人サービス活動指数は、87.1(前月比-7.2%)と3か月連続の低下。
- ・ 広義対事業所サービス活動指数は、95.8(前月比-5.0%)と3か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

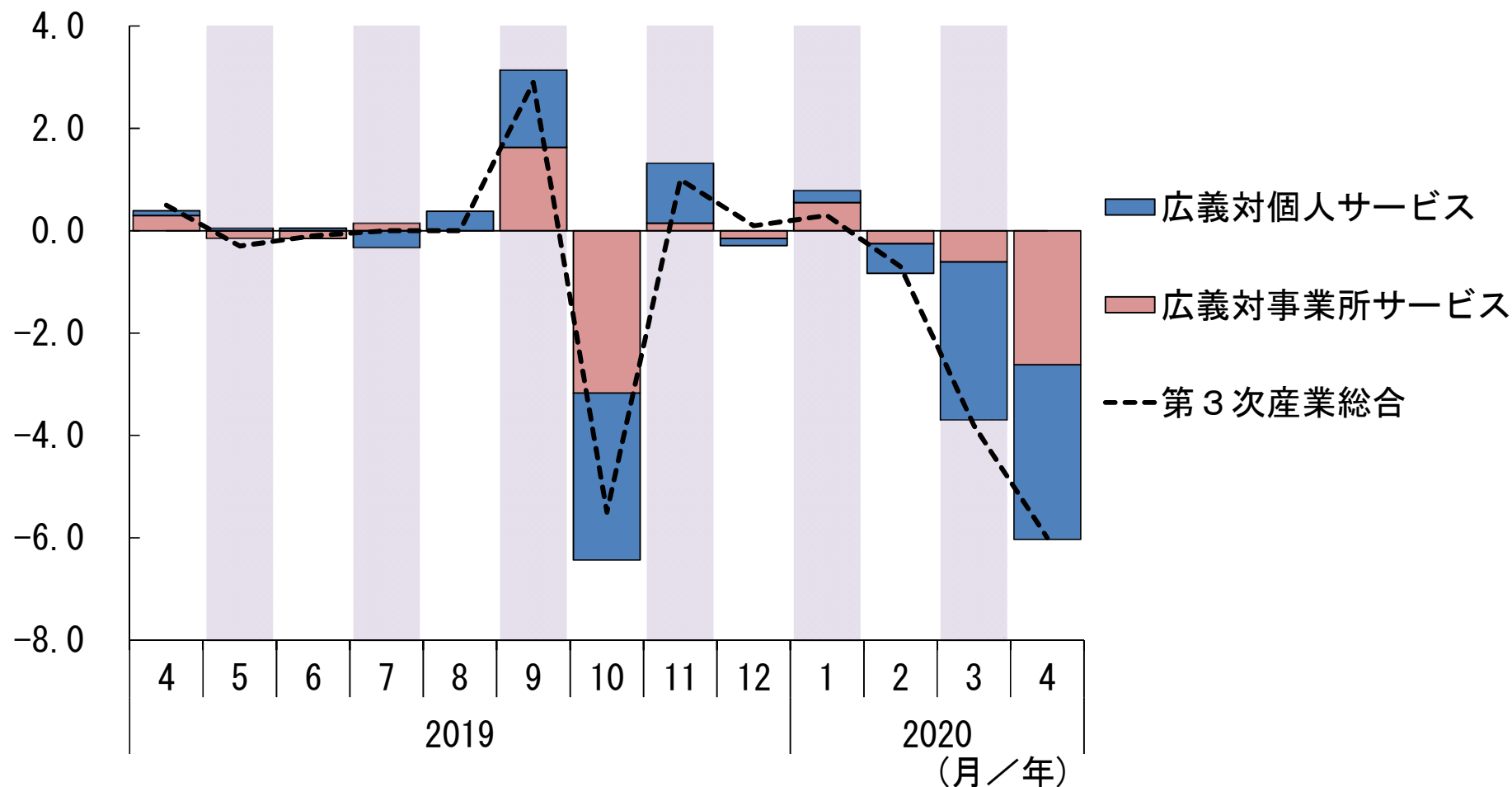


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

第3次産業総合前月比 広義対個人／広義対事業所サービスの影響度合い

- 2020年4月の第3次産業活動指数は、前月比-6.0%の低下。広義対事業所サービス、広義対個人サービスともに低下。

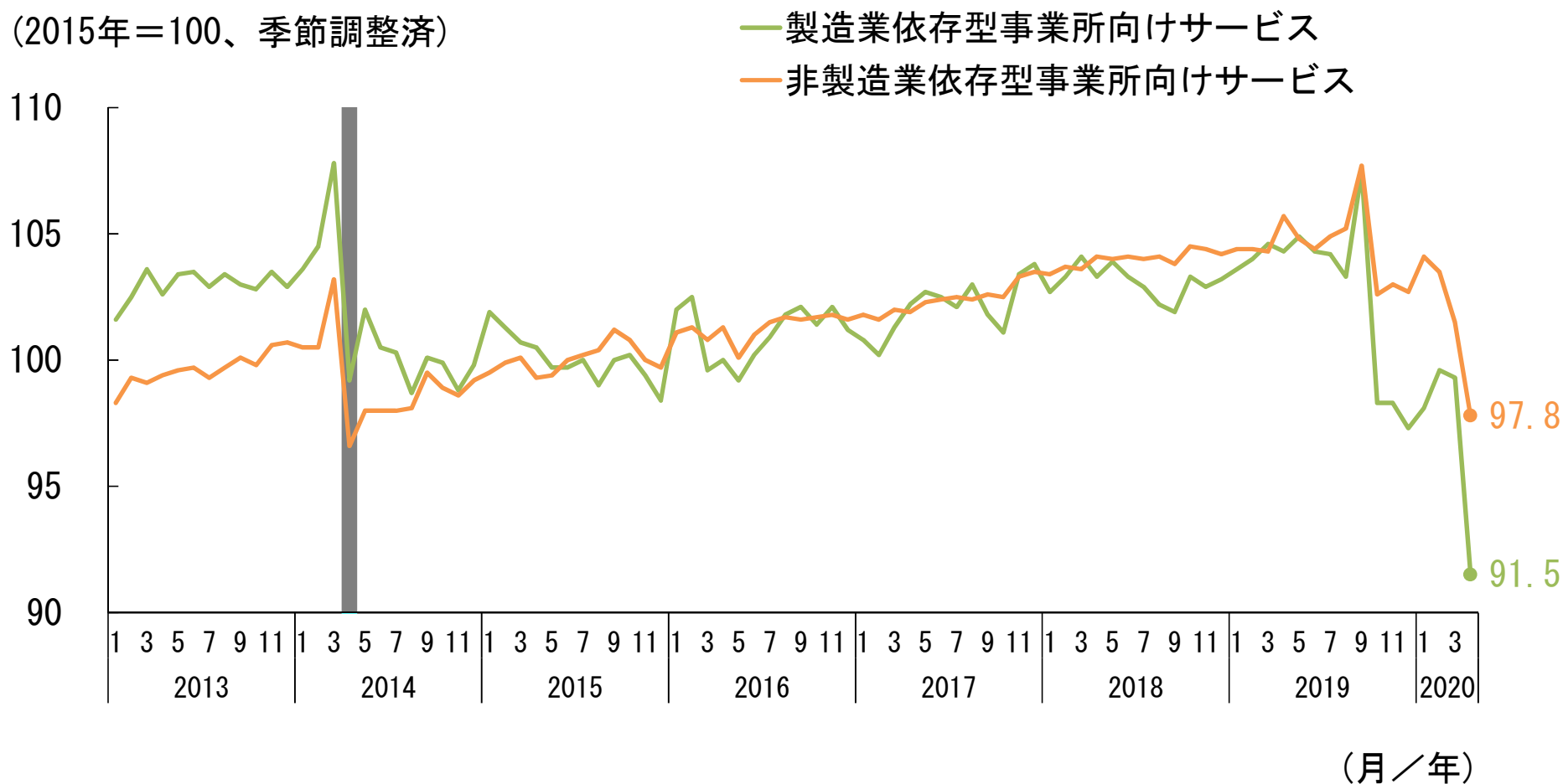
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



製造業／非製造業依存型 事業所向けサービス活動指数の動向

- ・製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、91.5(前月比-7.9%)と2か月連続の低下。
- ・非製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、97.8(前月比-3.6%)と3か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

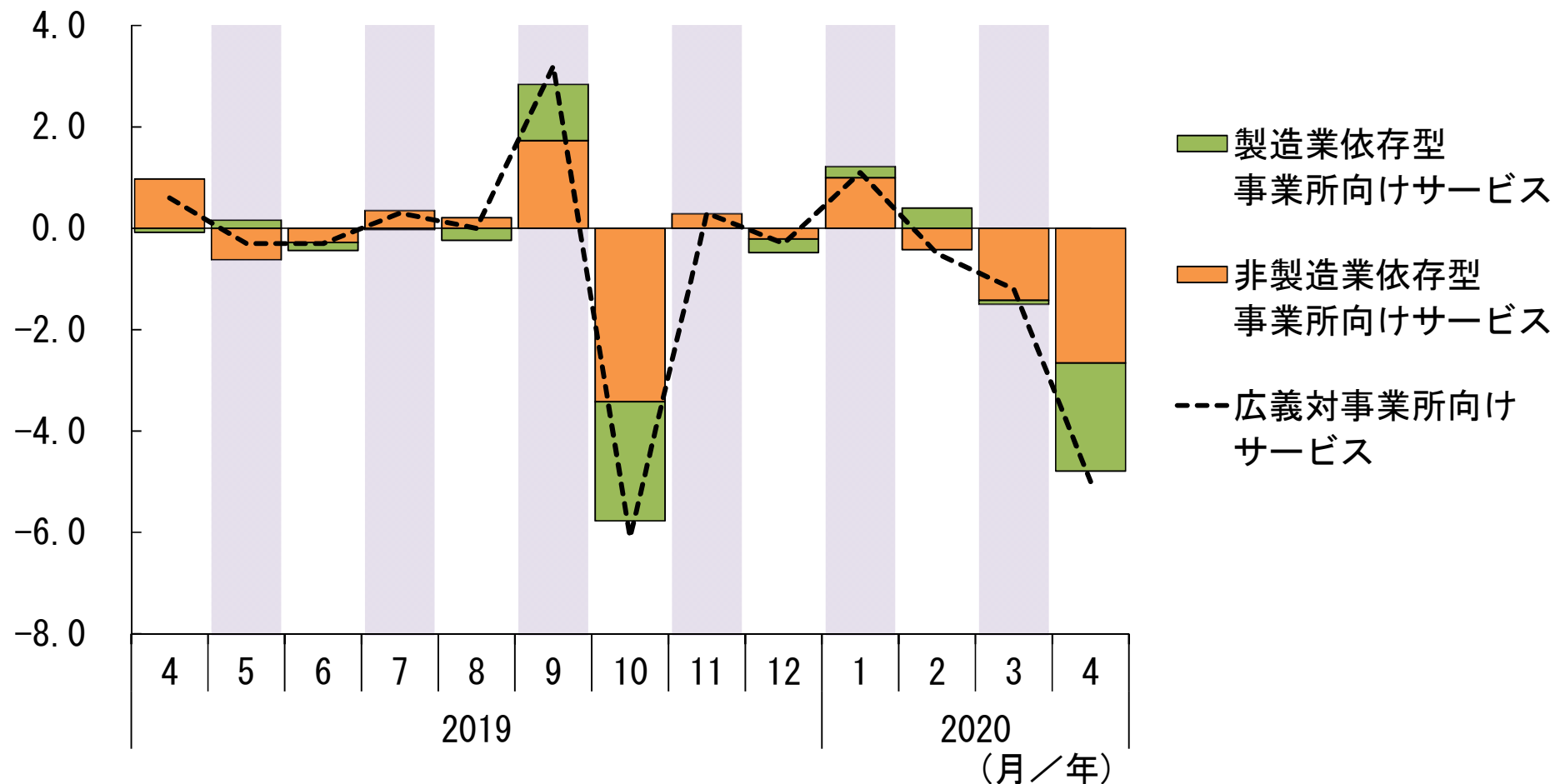


(注) 1. 広義対事業所サービスの内訳系列を、産業連関表の製造業と非製造業の投入比率の大小により、「製造業依存型」と「非製造業依存型」の二つに分類している。
2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

広義対事業所向けサービス活動前月比 製造業／非製造業依存型事業所向けサービス別の影響度合い

- 2020年4月の広義対事業所サービス活動指数は、前月比-5.0%の低下。製造業依存型事業所向けサービス、非製造業依存型事業所向けサービスともに低下。

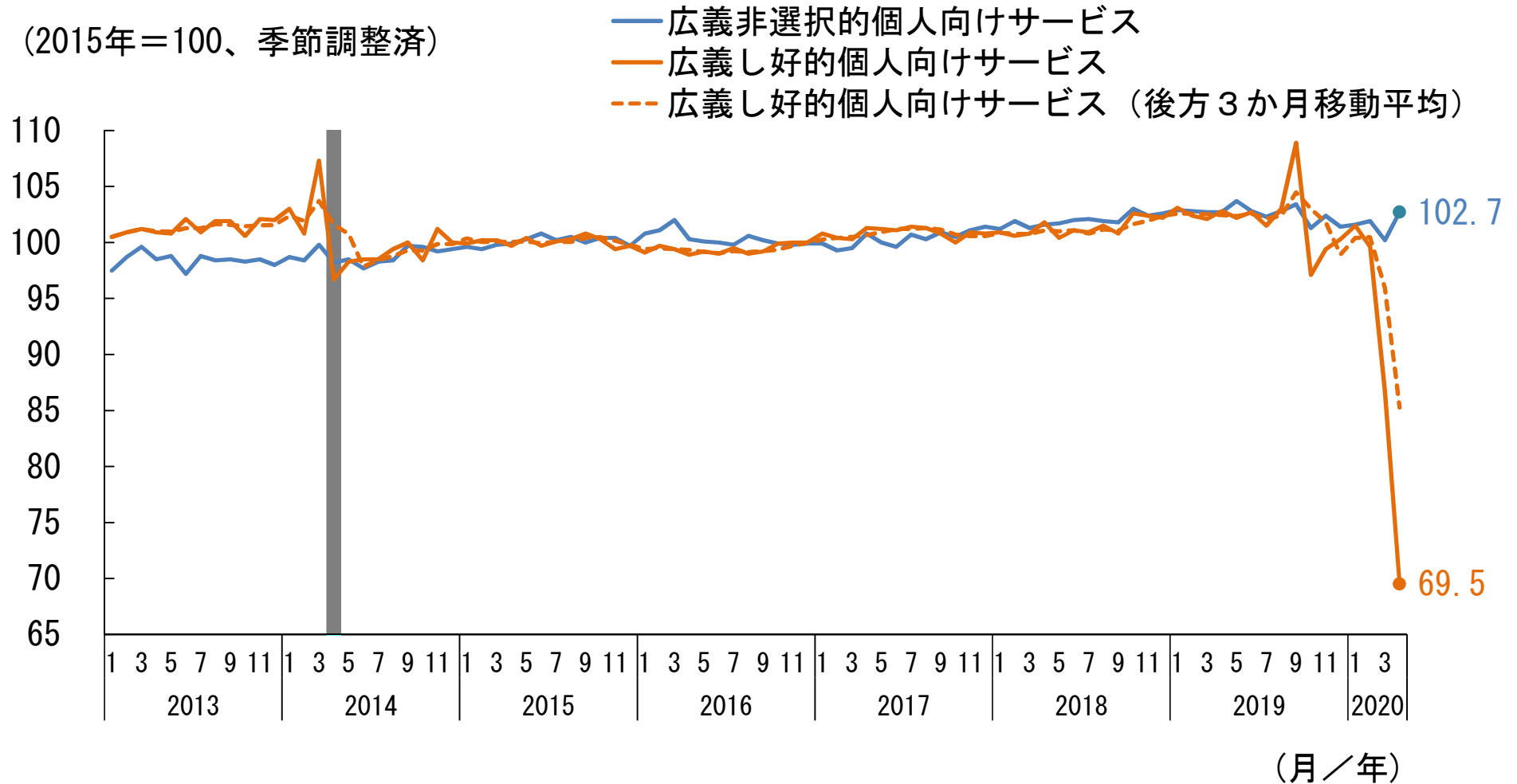
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



非選択的／し好的 個人向けサービス活動指数の動向

- ・2020年4月の広義非選択的個人向けサービス活動指数は、102.7(前月比2.5%)と2か月ぶりの上昇。
- ・広義し好的個人向けサービス活動指数は、69.5(前月比-19.8%)と3か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

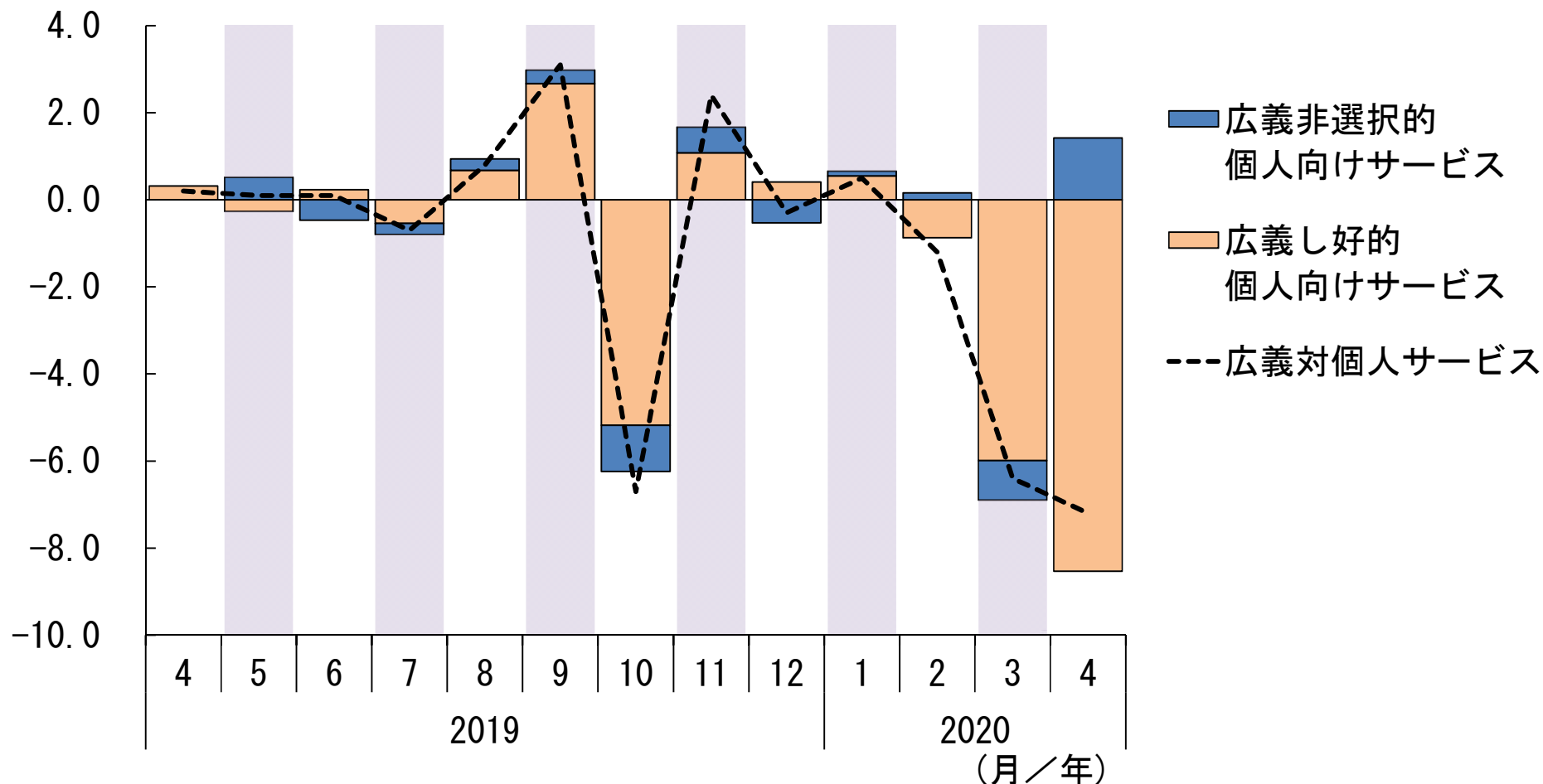


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

広義対個人サービス活動前月比 非選択的／し好的個人向けサービス別の影響度合い

- 2020年4月の広義対個人サービス活動指数は、前月比-7.2%の低下。広義非選択的個人向けサービスが上昇したものの、広義し好的個人向けサービスが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



広義対事業所サービス、し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを 低下 方向へ引張った業種の中で低下への影響度が大きい内訳業種	一般貨物自動車運送業	- 11.2%
	産業機械器具卸売業	- 20.3%
	流通業務	- 33.1%
	その他の機械器具卸売業	- 29.1%
	電気機械器具卸売業	- 8.7%
○ 広義対事業所サービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で上昇への影響度が大きい内訳業種	ソフトウェアプロダクト(除くゲームソフト)	33.9%
	医薬品・化粧品等卸売業	5.4%
	その他の情報処理・提供サービス業	2.8%
	金融仲介業務	0.9%
	廃棄物処理業	1.5%

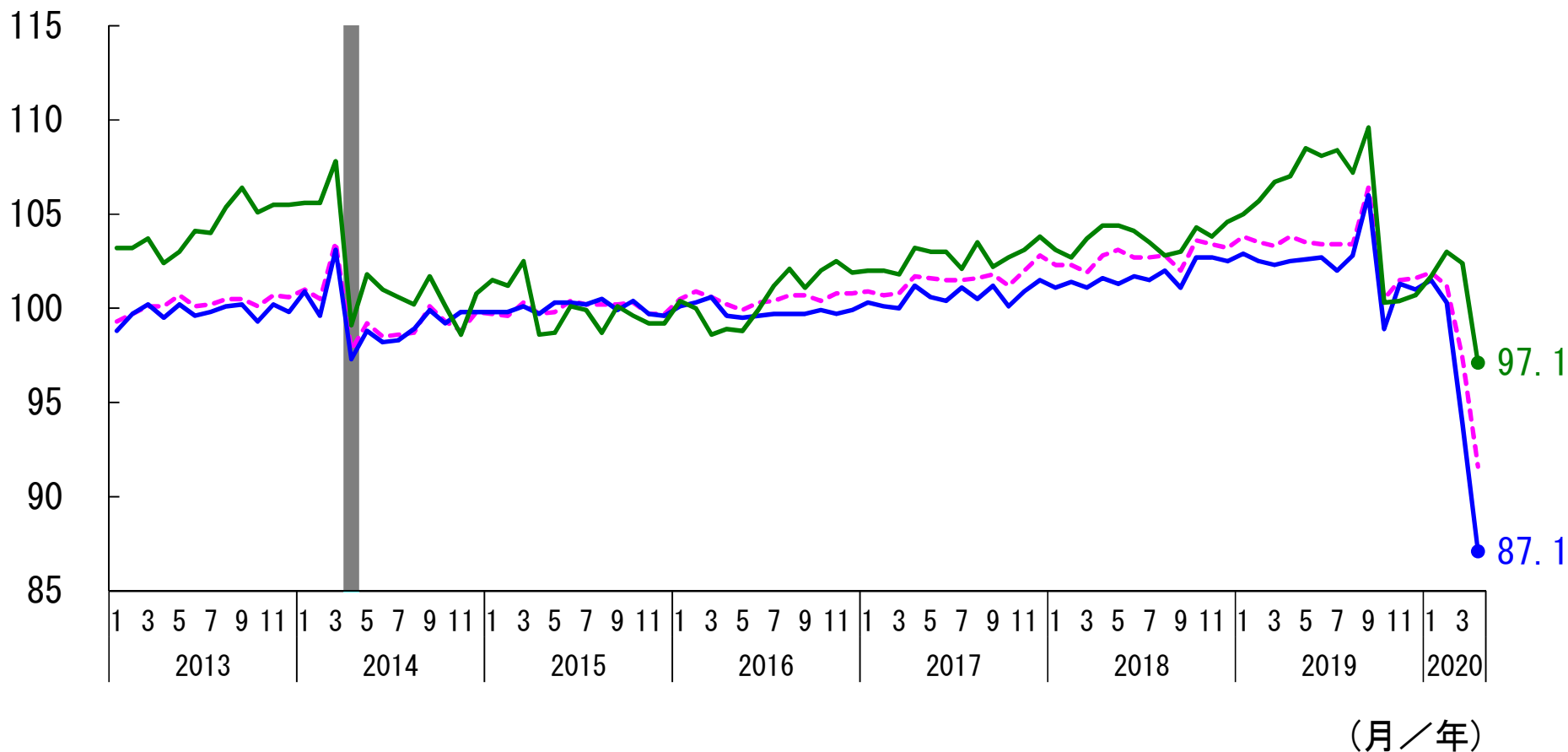
	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを 低下 方向へ引張った業種の中で低下への影響度が大きい内訳業種	食堂, レストラン, 専門店	- 50.3%
	織物・衣服・身の回り品小売業	- 40.0%
	自動車小売業	- 24.2%
	パチンコホール	- 53.9%
	各種商品小売業	- 29.4%
○ し好的個人向けサービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で上昇への影響度が大きい内訳業種	ゲームソフト	33.7%
	医薬品・化粧品小売業	3.7%
	自動車整備業(家庭用車両)	10.2%
	葬儀業	5.9%
	競艇場	27.3%

消費向け／投資向けサービス活動指数の動向

- ・ 2020年4月の消費向けサービス活動指数は、87.1(前月比-7.2%)と3か月連続の低下。
- ・ 投資向けサービス活動指数は、97.1(前月比-5.2%)と2か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

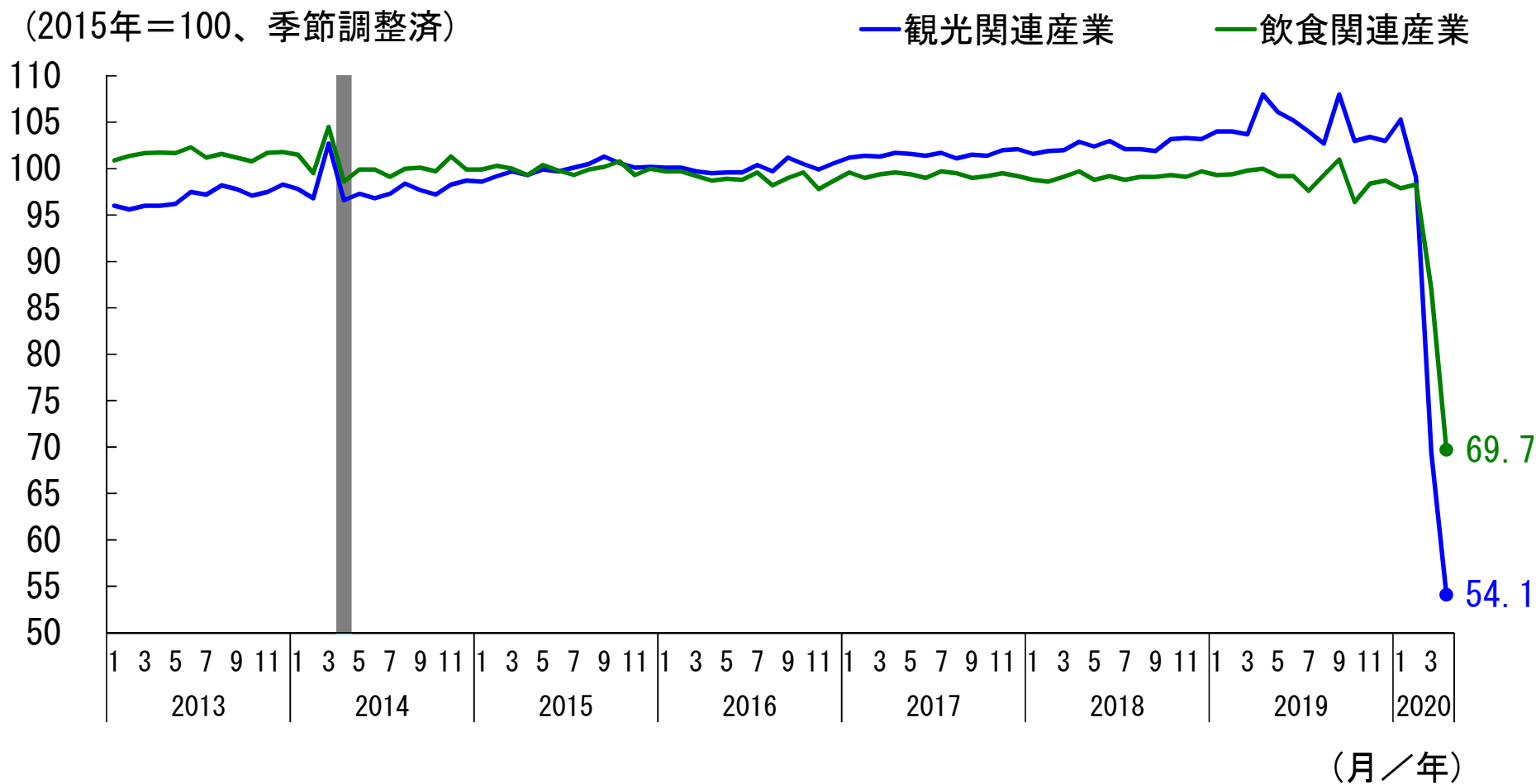
--- 第3次産業総合 — 消費向け — 投資向け



(注) 1. 消費向けサービス活動指数 (= 広義対個人サービス活動指数) は、個人消費関連のサービス (小売業や娯楽業など) の動きを表す系列。
 投資向けサービス活動指数は、民間企業設備関連のサービス (ソフトウェア開発、機械器具卸売業など) の動きを表す系列。
 2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

観光関連産業活動指数、飲食関連産業活動指数の動向

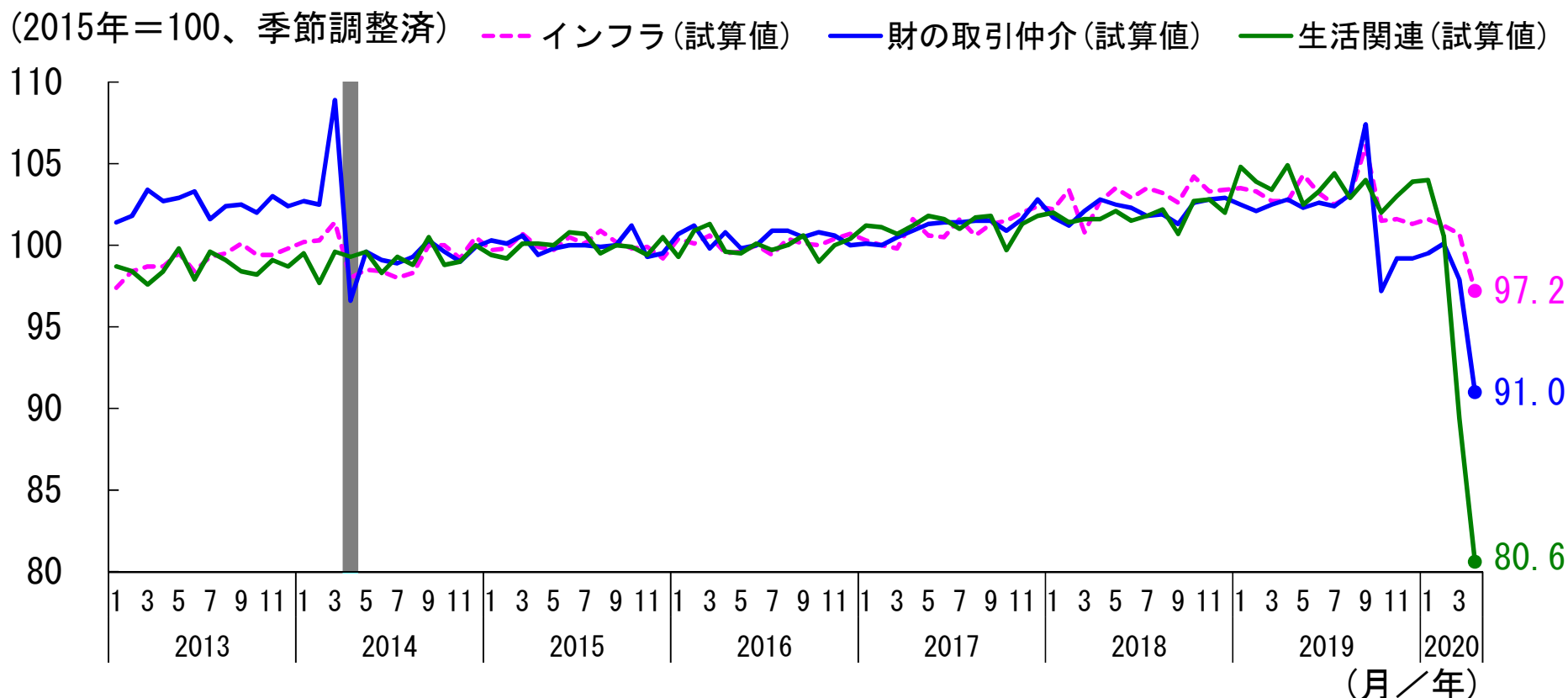
- ・ 2020年4月の観光関連産業活動指数は、54.1(前月比-22.0%)と3か月連続の低下。
- ・ 飲食関連産業活動指数は、69.7(前月比-19.9%)と2か月連続の低下。



(注) 1. 観光関連産業活動指数は、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。
 飲食関連産業活動指数は、デパート等の各種商品小売業(飲食料品部門)、飲食料品小売業、食堂、レストランやファーストフード等の飲食店、飲食サービス業が含まれる参考値。
 2. 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

形態別にみたサービス活動指数の動向

- ・ 2020年4月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、97.2(前月比-3.5%)と3か月連続の低下。
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、91.0(前月比-7.0%)と2か月連続の低下。
- ・ 生活関連型サービス活動指数(試算値)は、80.6(前月比-9.8%)と3か月連続の低下。



(注)1. インフラ型サービス活動指数、財の取引仲介型サービス活動指数、生活関連型サービス活動指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つの試算値には含めていない。

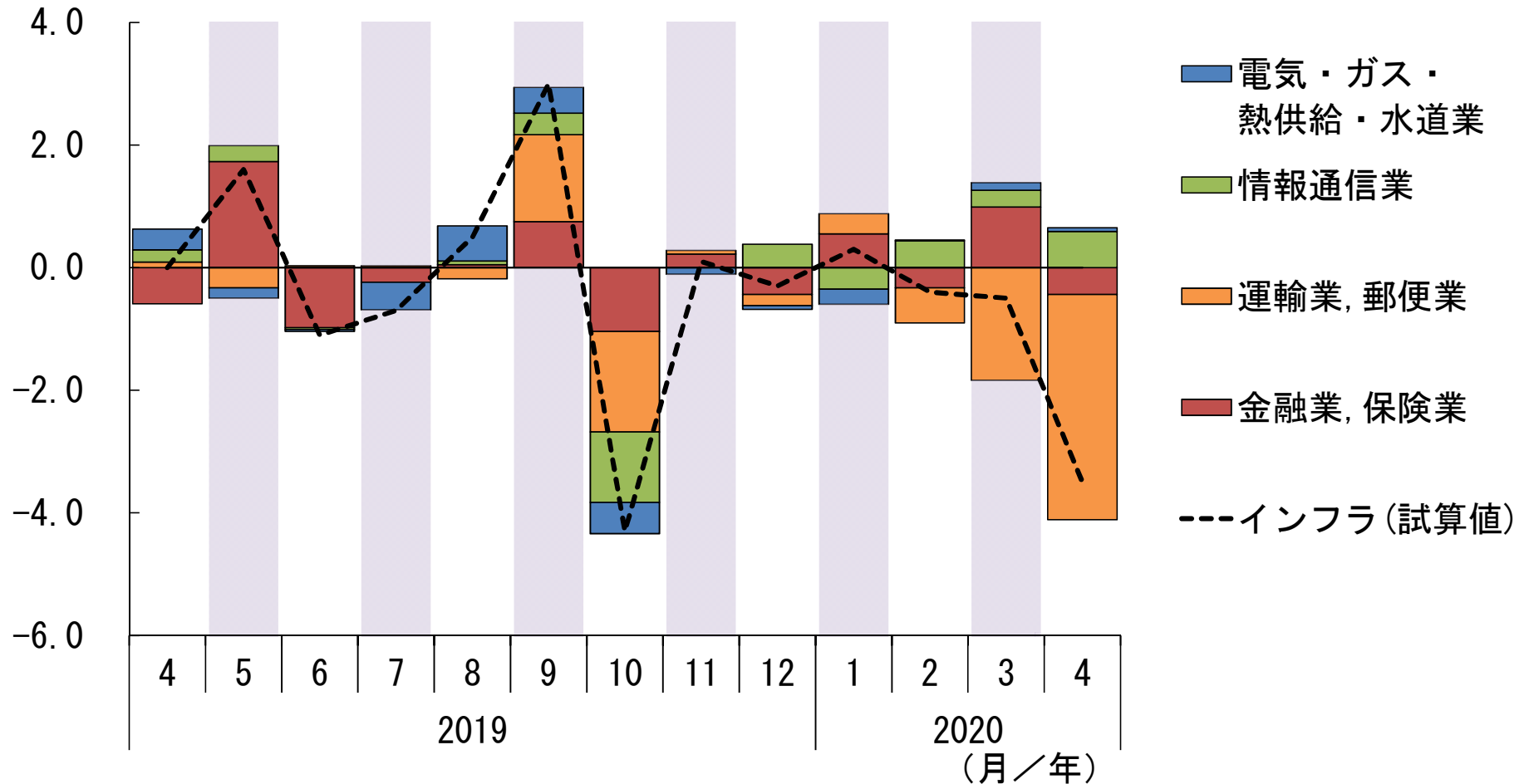
- ・ インフラ型サービス活動指数：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数：卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業
- ・ 生活関連型サービス活動指数：医療、福祉、生活娯楽関連サービス

2. 灰色のシャドウ部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

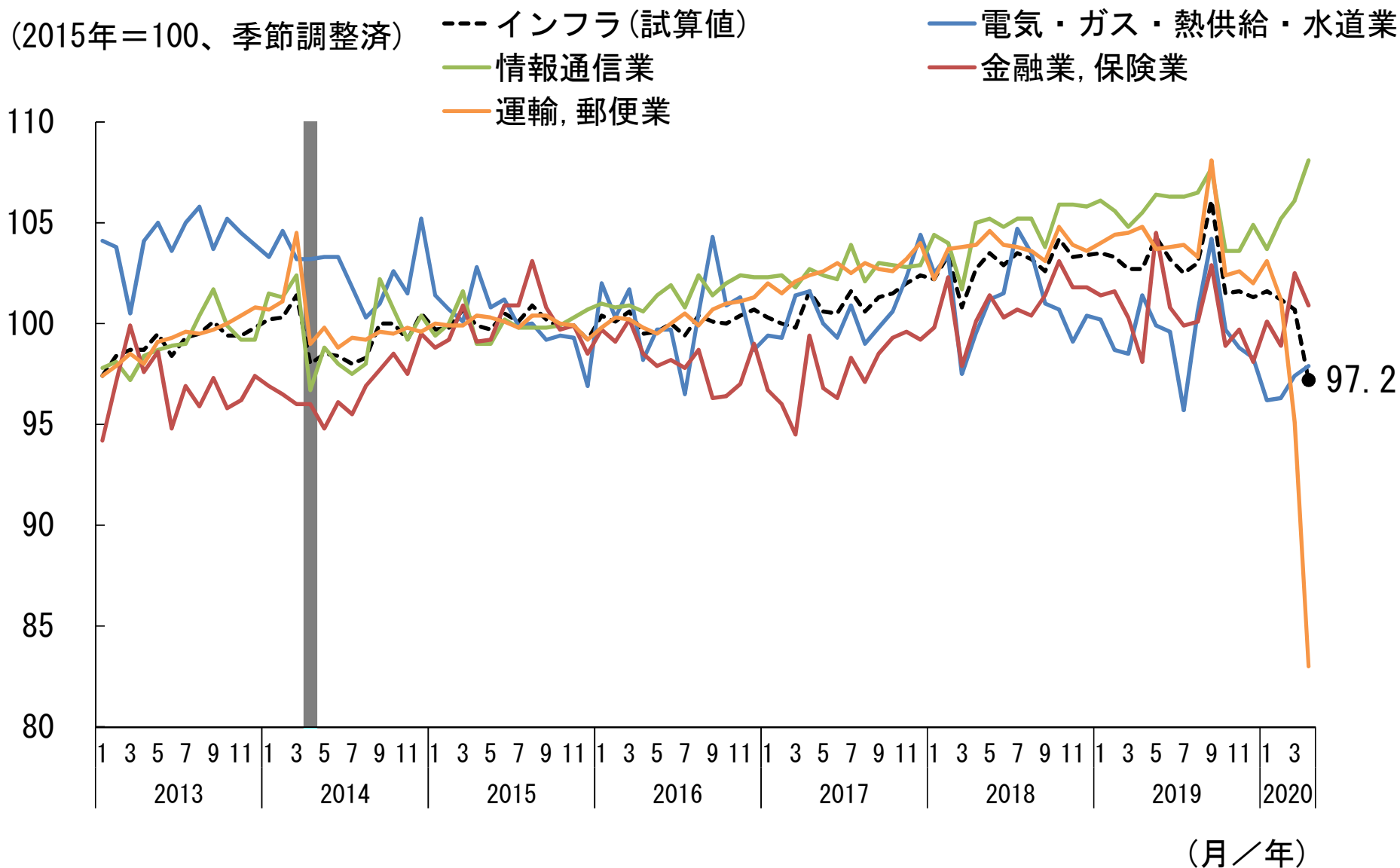
インフラ型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年4月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、情報通信業などが上昇したものの、運輸業、郵便業などが低下したため、前月比-3.5%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみたインフラ型サービス活動の動向

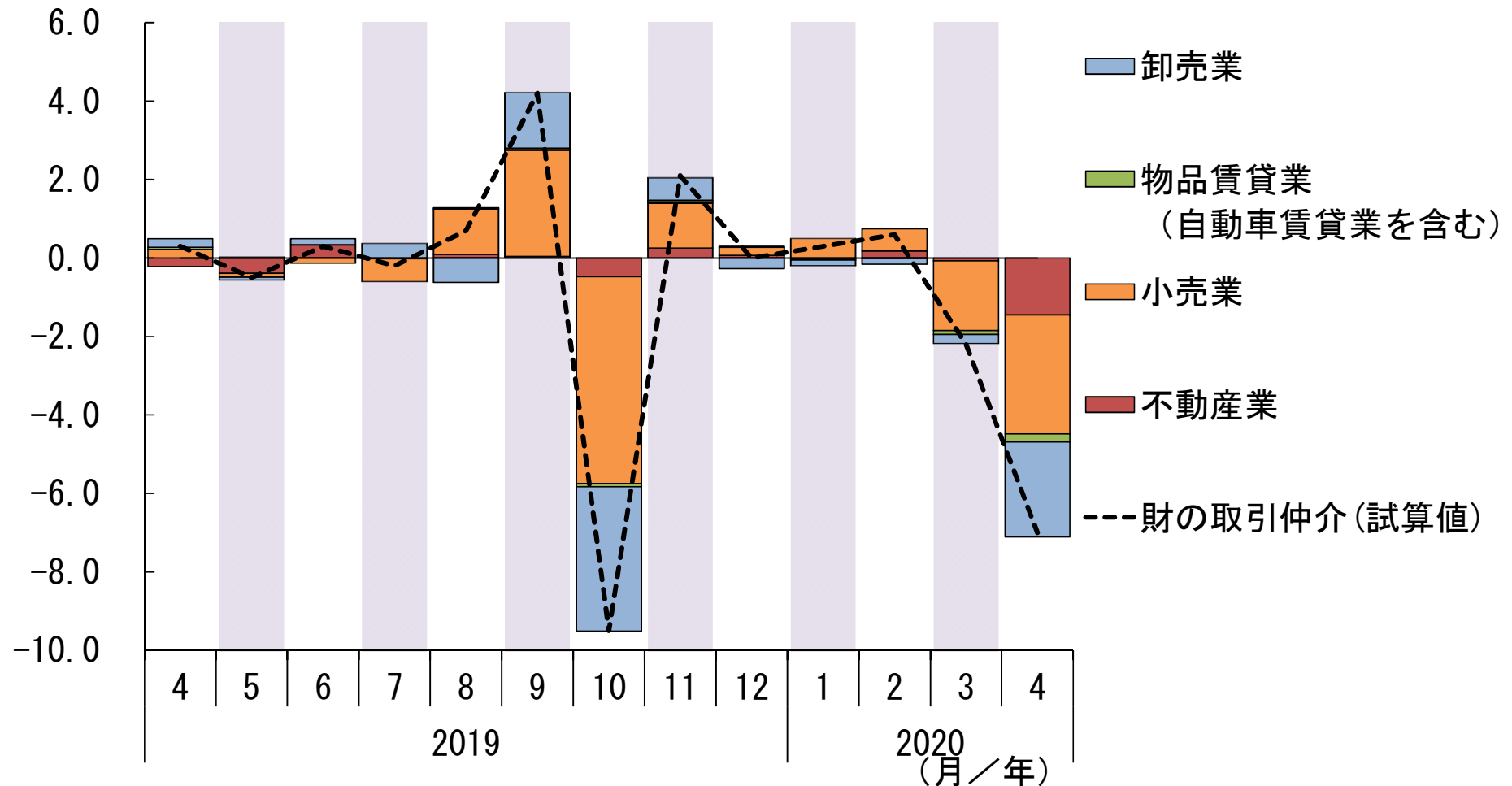


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

財の取引仲介型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年4月の財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、小売業などが低下したため、前月比-7.0%の低下。

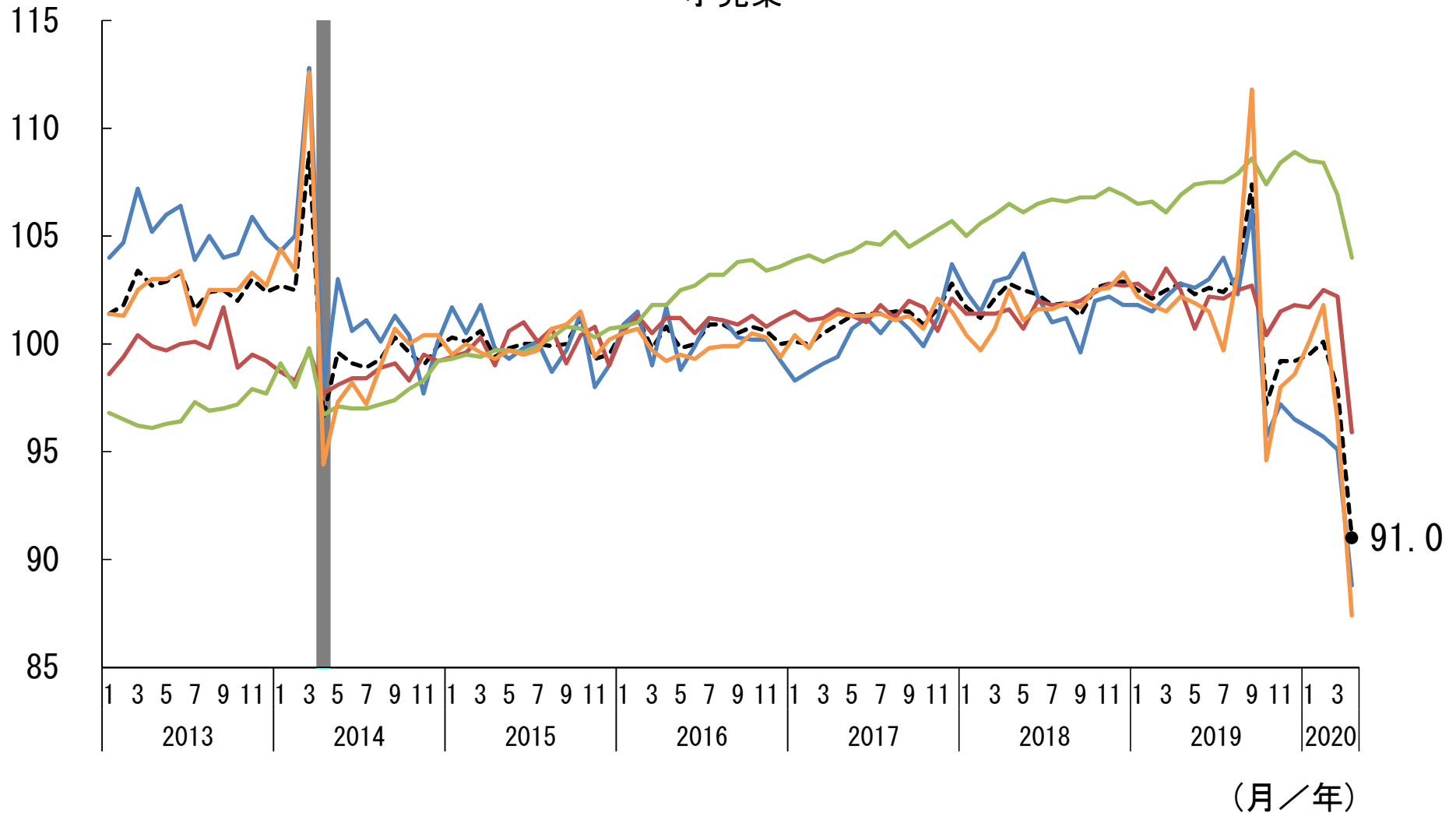
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた財の取引仲介型サービス活動の動向

(2015年=100、季節調整済)

--- 財の取引仲介(試算値) 卸売業
 不動産業 物品賃貸業
 小売業

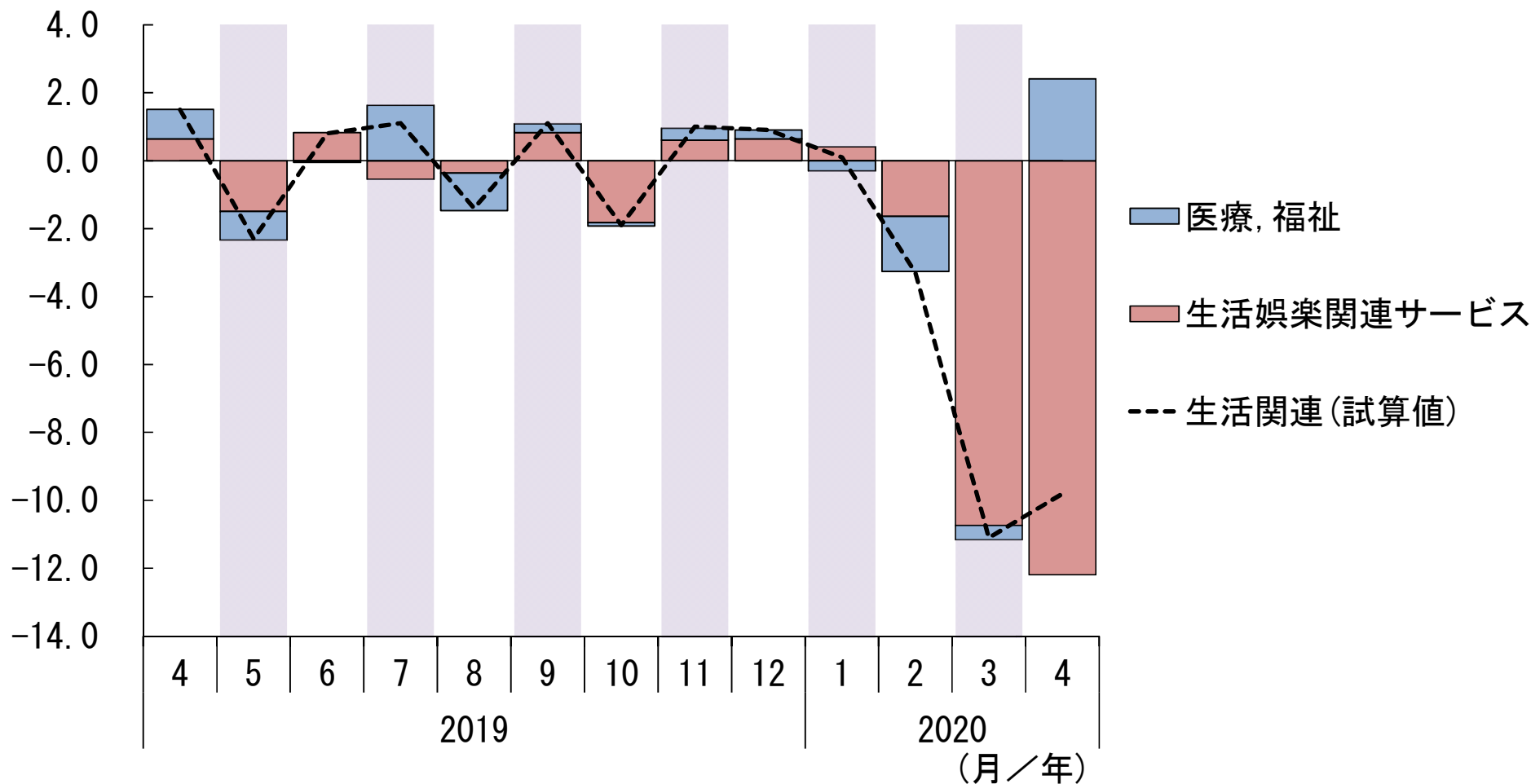


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

生活関連型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年4月の生活関連型サービス活動指数(試算値)は、前月比-9.8%の低下。医療,福祉が上昇したものの、生活娯楽関連サービスが低下。

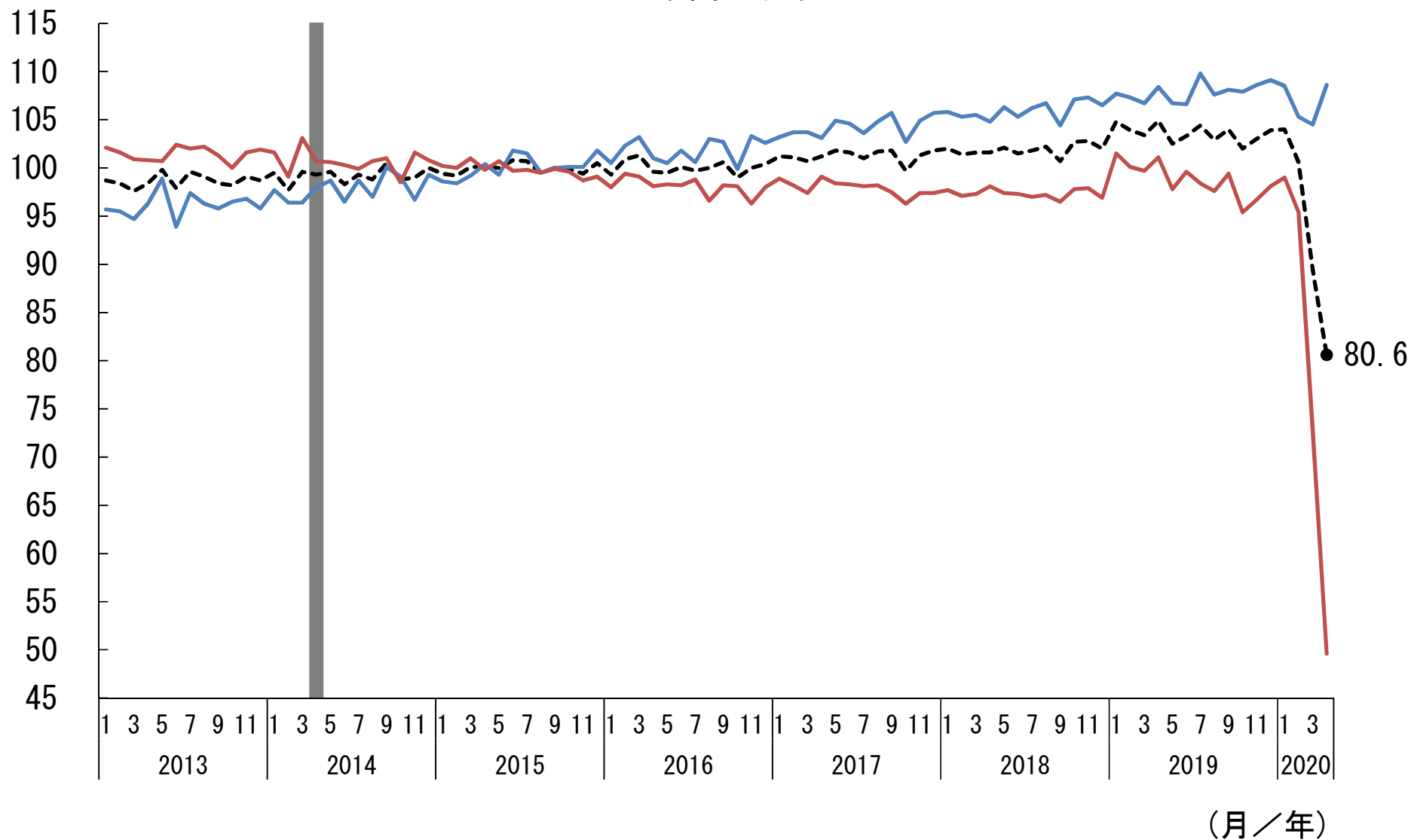
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた生活関連型サービス活動の動向

(2015年=100、季節調整済)

--- 生活関連(試算値) — 医療, 福祉
— 生活関連娯楽サービス



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。